

新たな「富山県農業・農村振興計画」の構成（案）

・県総合計画の素案で示した主要施策を基本に、具体的な内容を肉付け
・現行の農業・農村振興計画の施策を引継ぎ、新たな要素や関係者の皆様の意見を盛り込む

＜現行計画からの主な変更点＞

- ・目下の大きな課題である人口減少に対応するため、「人」への施策を1番に掲げる
- ・以下、2項目を別立て
 - 災害に強い農業用施設の整備：能登半島地震の経験や激甚化する災害・気象変動への備えが重要
 - 消費者が「生産」を支える機運の醸成：生産コストが上昇する中、合理的な価格形成など消費者の理解・行動変容を促すことが必要

新たな県総合計画（うち農業関係抜粋）

09 | 農林水産

■持続可能な稼げる農業の推進

- ・農業の人材確保・育成
- ・生産性の向上
- ・持続可能な農業生産
- ・消費者理解の醸成

■食のとやまブランドによる消費拡大・販路拡大・輸出拡大

■ワクワクする農山漁村の持続的な発展と都市との交流

07 | インフラ・県土強靱化 のうち

- 災害に強い農業用施設の整備
- 安全・安心な暮らしの確保

新たな富山県農業・農村振興計画

- 1 農業の**人材確保・育成**と**生産性向上**
 - ・稼げる農業の実現
 - ・担い手の育成
 - ・多様な農業人材の活躍
 - ・生産性向上に向けた技術導入と生産基盤の強化
- 2 **持続可能な農業生産**
 - ・競争力ある農産物の生産
 - ・人と環境にやさしい農業
- 3 **食のとやまブランドの推進による消費・販路・輸出拡大**
- 4 **ワクワクする農山漁村の持続的な発展と都市との交流**
- 5 **災害に強い農業用施設の整備**
- 6 **消費者が「生産」を支える機運の醸成**

現行の富山県農業・農村振興計画

- I 消費者に求められる競争力ある農産物の生産
 - ・競争力のある農産物の生産
 - ・人と環境にやさしい農業
 - ・技術の開発・普及
- II 農業経営の高度化・複合化と経営基盤づくり
 - ・担い手の育成と経営強化
 - ・生産基盤の確保
- III 農産物のブランド力向上と販路の開拓・拡大
 - ・販路の開拓・拡大
 - ・新鮮で安全な食の提供
- IV 豊かな資源を活用した魅力ある農村の創造
 - ・豊かで魅力ある農村の形成
 - ・中山間地域の活性化